

きゅうほく しょうあんきょう



(公社)九州北部小型船安全協会

発行事務局

〒 801 - 0852 北九州市門司区港町 7-8
郵船ビル 2 階

TEL (093) 332-3578 FAX (093) 332-3579
メールアドレス 9hoku@kyu-shoankyo.or.jp



大分地区小型船安全協会提供

役員から新年のごあいさつ

旧年中は、小型船の安全確保のため格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
今後も海難防止と運航マナーの向上を図り安全で秩序ある海洋レクリエーションの普及と発展に寄与するよう役員一同頑張りますので、会員はじめ関係者の皆様におかれましては、何卒倍旧のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

会長 (菅屋地区会長)

中西 定美

副会長 (長崎会長)

福田 一幹

副会長 (宇部会長)

石井 昭雄

専務理事 (関門地区会長)

大迫 秀八郎

理事 (福岡地区会長)

廣瀬 英樹

萬矢 勝保 (有明海地区会長)

松園 作好 (伊万里湾会長)

松井 俊澄 (佐世保地区副会長)

飯田 俊博 (長門地区会長)

長本 敏幸 (洞海地区事務局長)

早田 悠次 (平戸地区会長)

理事 (唐津玄海会長)

吉永 啓次郎

畑島 宏幸 (対馬会長)

田口 隆治 (大分県連合会会長)

監事

公益社団法人

西部海難防止協会会長

高祖 健一郎

西日本 代表取締役

中野 隆





平成二十九年 年頭挨拶

第七管区海上保安本部

本部長 山本 得雄

平成二十九年の初春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

公益社団法人九州北部小型船安全協会中西会長をはじめとする各会員、関係者の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

さて、昨年管内で発生した全海難事故隻数は、速報値で三百五十七隻となっております。この値は、当庁の海難調査が現在のシステムとなりました平成十三年以降最少となっております、平成二十六年に初めて年間全海難事故隻数が四百隻を下回ってから、一昨年、昨年と減少し、その傾向が継続しているようです。しかし、プレジャーボートに転じて確認いたしますと、残念ながら前年より十八隻増加しております、プレジャーボートと漁船等の小型船舶の事故が全海難事故を占める割合は、相変わらず七割を越える高い値となっております。

このような状況の中、当庁では、昨年四月一日、プレジャーボート、漁船等小型船舶の海難減少を推進させるべく、専従してこの業務にあたる安全対策課を本庁及び管区本部に設置し、小型船舶の海難防止活動に邁進してまいりました。

その活動では、現場海上保安官と海上安全指導員の皆様との合同パトロールをはじめ、貴協会主催の海難防止講習会へ参加させていただくなど、貴協会の多大なご協力のもと海難防止啓発活動を継続して推進してきました。特に、昨年は七月の「船舶職員及び小型船舶操縦者法」の一部改正に伴い、「見張りの実施業務」、「発航前の検査業務」に違反した船長は、行政処分の対象となったことから、これらの周知活動を展開しましたが、

前述の講習会や貴協会が発行するリーフレットへの掲載により、広く小型船舶の関係者へ理解を深めていただくとともに、周知することができました。

管区本部、部署の現場海上保安官だけでは周知活動には限界があり、貴協会に所属する地区会員の皆様の協力や連携した活動が不可欠であることを改めて認識しているところであります。平成二十九年にあっては、近年の海難減少の流れを更に加速させるとともに、プレジャーボートによる海難事故につきましても今年は是非とも減少に転じるよう、これまで以上に各会員の皆様と連携を強化し、引き続き合同パトロールや海難防止講習会をはじめとする海難防止啓発活動を活発化させるよう考えております。更に、若い頃から海に親しみ、また海の事故の怖さを知ってもらうため、貴協会の皆様と協力し、若年層と言われる小中学生を対象とした海上安全教室の開催等新たな取り組みに力を入れて推進する所存でございます。

このように、第七管区海上保安本部では、九州北部小型船安全協会及び関係者の皆様方と一致協力し、会員の皆様のみならず、すべてのプレジャーボート愛好者の皆様が自ら安全意識を高め、また安全意識を向上していただけるよう各種取り組みを粘り強く実施し、「海難防止」という大きな目標に向かって啓発活動に邁進してまいります。

今年四月から、海上保安部の交通課に小型船舶の海難防止に専従する役職が新設されることになっており、今後、プレジャーボート等小型船舶の海難防止のための更なる取り組みが展開されていくこととなります。会員の皆様におかれましては、現場海上保安官とともに、これまで以上に海難防止活動への参加・ご協力をお願いいたします。

最後になりますが、今年が昨年以上に会員及び関係者の皆様方にとりまして幸せで安心な、また発展の年なりますことを祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

今年度の主な事業・行事实施状況

平成二十八年度 通常総会報告

平成二十八年五月三十日に平成二十八年度通常総会がステーションホテル小倉で開催されました。

議事は、次のとおりです。

- (1) 平成二十七年事業報告について
- (2) 平成二十七年収支決算報告及び監査報告について
- (3) 役員改選について
- (4) その他

・平成二十九年度日本財団への助成金の申請について
・議事録署名人の選出について

以上 4 項目について審議されすべて異議なく承認されました。
また、総会で承認されました理事・監事は、次の方々です。

中西理事・福田理事・石井理事・大迫理事・廣瀬理事・萬矢理事・松園理事・松井理事・飯田理事・長本理事・早田理事・吉永理事・畑島理事・田口理事・高祖監事・中野監事。

今年度は、役員改選時期にあたり、総会終了後第 2 回理事会が開催され代表理事及び業務執行理事の選任について審議され、次の方々に決定いたしました。

代表理事 中西 定美
副会長 福田 一幹
副会長 石井 昭雄
専務理事 大迫 秀八郎

当協会の理事を二十六年間努められ総会を以って退任されます中田理事に感謝状及び副賞が贈呈されました。心より感謝申し上げます。

会員の皆様及び賛助会員の皆様、遠路よりご出席いただきありがとうございます。今後ともよろしくご協力の程お願い申し上げます。

日本財団助成事業 安全講習会

五月二十一日

平戸地区

平戸文化センター会議室で開催された。

講師として、七管本部、平戸海上保安署から「海難の状況と発航前点検等について」、平戸消防署からは、「応急手当講座」の講習をして頂いた。

五月二十八日

大分地区

四月十六日に予定していた講習会は、熊本地震のため延期となった。大分東部公民館で開催された。

講師として、七管本部、大分海上保安部から「海難の状況と発航前点検等について」、「大分県内の海難について」の講習をして頂いた。

六月七日

洞海地区

若松港湾合同庁舎会議室で開催された。

講師として、七管本部及び若松海上保安部から「平成二十七年の海難の統計とプレジャーボートの安全運航について」、「平成二十七年の海難の事故事例と海難防止について」の講習をして頂いた。

六月十五日

佐伯地区

佐伯市保健福祉総合センター和楽で開催された。

講師として、七管本部、佐伯海上保安署から「プレジャーボートの安全運航について」、「ミニボートに対する注意事項等について」の講習をして頂いた。



今年度の主な事業・行事実施状況

対馬地区講習会の様子



洞海地区講習会の様子



十月二十三日
対馬地区

港湾合同庁舎会議室で開催された。講師として、対馬海上保安部から「対馬周辺海域の海難状況及び事例について」の講習をして頂いた。

当日、強風のため飛行機が欠航となり、七管本部からの講習は中止となった。
十一月二十八日

長門地区

KURABO大正館で開催された。

講師として、七管本部及び仙崎海上保安部から「プレジャーボートの安全運航について」、「救命胴衣について」の講習をして頂いた。また、長門地区小安協海上安全指導員岩崎氏より、「海上安全指導員連絡調整会議の報告等」をして頂いた。

二月二十六日

唐津地区

唐津市水産会館で開催された。

講師として、七管本部及び唐津海上保安部から「七管内における海難の発生状況について」、「ロープワーク等について」の講習をして頂いた。

実技講習会

六月十二日

ひびき灘地区

脇田漁港フィッシュリーナ交流棟で開催された。

座学講習として、七管本部及び若松海上保安部から「平成二十七年の海難統計とプレジャーボートの安全運航について」、「平成二十七年の海難事故事例と海難防止、曳航救助について」を講習して頂いた。

実技講習として、「曳航方法、曳航策の取り方について」、「バッテリーチェッカーの有効性について」、「浮くっちゃボトル、救命胴衣の有効性について」若松海上保安部より講習をして頂いた。



TV局撮影！ 緊張！

今年度の主な事業・行事实施状況

日本財団助成事業 海事普及活動

七月十七日

関門地区小安協 関門ボート天国

関門港で開催されたボート天国に企画し、会場・水辺警備を担当したほか、毎年恒例となっているプレジャーボートの無料体験乗船。乗船者二百二十名。



今年も体験乗船は、大人気です。

八月二十一日

ちびっ子カーニバル2016

遠賀郡芦屋町にある芦屋競艇場で行われている「ちびっ子カーニバル2016」に芦屋小安協が企画し、小中学生及び父母の海に対する基本的知識の向上を図るため、若松海上保安部のご協力により、親子安全教室、PW安全協会のご支援を頂いて水上オートバイの体験試乗、海上保安庁のキャラクターである「うみまる君」との記念撮影、海上保安庁・小型船安全協会の活動状況のパネル展示を行った。



今年は、夏休みの開催、子供たちで賑わってます。

今年度の主な事業・行事实施状況

十月二十九日

宇部地区

座学講習として、七管本部及び宇部海上保安署から「プレジャーボートの安全運航について」、「心肺蘇生法の訓練」を講習して頂いた。

実技講習として、宇部海上保安署から「救命胴衣の着用と海中転落の対応」、UBE マリーナ江尻氏より「発航前点検及びトラブルシューティングについて」を講習して頂いた。



宇部マリーナ江尻氏の講習を真剣に聞かれている会員さん。



若い方も頑張ってますね。

日本財団助成事業

安全活動

海上安全合同パトロール

海上安全合同パトロールを各保安部署のご協力を得て役員立合いのもと各地区で実施した。

パトロールの目的は、プレジャーボート等運航者の海難防止思想の普及及び安全運航指導です。

海上安全指導員とともに海上保安部職員が安全パトロール艇へ乗船し、パンフレットを配布するとともに安全運航の呼びかけを行います。

合同パトロールの様子



海上安全指導員さん、お疲れ様です。

今年度の主な事業・行事実施状況

日本財団助成事業 海事普及活動

園児海洋体験学習及び老人介護施設訪問活動

日本財団助成事業の新規事業として、今年度より実施。

幼少期からプレジャーボートの楽しさ、海への親しみ、海のルールやマナーを実体験させることにより、安全で楽しいプレジャーボート等によるマリネレジャーの発展に資することを目的とした事業です。園児達が海で体験したこと等、お年寄りの方たちとコミュニケーションをとるなどして同マリネレジャーの地域社会への浸透を図り、その活性化に繋げることを目的としています。

六月二十三日

老人介護施設訪問活動

会員が五隻の船に分乗し、宇部沖でキスゴ百四十四匹を釣り、宇部市内の小羽山保育園児二十名と一緒に宇部市の軽費老人ホーム好生園のお年寄り五十名にプレゼントした。

2016年〈平成28年〉 6月24日 金曜日 (毎日・毎日版)

旬のキスゴをプレゼント (好生園で)



旬のキスゴ味わって

釣りがてを好生園に 宇部小型船安全協会

宇部小型船安全協会(石井理事長)は、宇部市好生園十名の軽費老人ホーム(内、田代十名)のお年寄りに釣った旬のキスゴのプレゼントをした。

同協会はプレジャーボートに乗って、上などの小型船所有者もらうと会員はバスを構成し、海上の安全をモットーに釣りをし、それを安全に上げた。中村好生園長、石井理事長、田代十名、好生園の役員、お年寄りの代表、新キスゴの船に分乗し、同日午前、手塚と「きれいなキスゴ」を分けて、お年寄りにプレゼントした。



十一月九日

園児海洋体験学習

参加者 会員

小羽山保育園 園児 二十一名

保護者 三名

プレジャーボート四隻で宇部沖一帯を二時間の体験学習を実施した。



石井会長のお話を真剣に聞いている園児たち。



待ちに待った体験航海の
出発です！

今年度の主な事業・行事实施状況

日本財団助成金 安全講習会受講旗

無償配布

二十八年度安全講習会受講旗

配布枚数

一年に一回は、受講しましょう。

受講された会員の方には無償で配布いたします。



1, 2 0 7 枚

十月二十日 第三回理事会

第三回理事会が北九州市門司区の郵船ビル三階会議室で開催された。

次の議案が審議された。

- (1) 平成二十九年日本財団に対する助成金の交付申請について
- (2) 嘱託員に関する内規(案)について
- (3) 議事録署名人について

議案については、異議なく承認された。
十月二十六日に日本財団に申請した。

事業総額	五百五十万円
助成金申請	四百四十万円
自己負担額	百十万円

議事録署名人については、定款三十二条第二項により、中西代表理事・高祖監事・中野監事をお願いした。



七管本部 山本交通部長 挨拶



中西会長 挨拶

今年度の主な事業・行事实施状況

日本財団助成事業 広報活動として

ポスター・マリンセーフティブック作成

七月二十一日

協会事業の周知宣伝及びプレジャーボート等の小型船の海難防止に資するため、ポスター・マリンセーフティブックを作成配布。

マリンセーフティブック

昨年度同様にマリンセーフティブックの中に基本的事項のチェック等海に出る際に役に立てて頂けるように出航前チェック表・航海記録表を入れ込んでおります。是非活用してください。

また、海上安全指導員の方々が活動する際には是非、活用して頂くようお願いいたします。(海上安全パトロール・訪船指導等)



事務局より

広報誌の発行は、28 年度を以って終了させて頂くこととなりました。

永い間、ありがとうございました。

29 年度以降は、当協会のホームページ及び日本財団 CANPAN BLOG のほうで、活動状況及びお知らせ等をご覧いただきますようお願いいたします。

ホームページ

<http://www.kyu-shoankyo.or.jp>

日本財団 CANPAN BLOG

<http://blog.canpan.info/kyu-shoankyo/>

また、当協会のフェイスブックを近日中に始めることといたしました。是非、ご期待ください。



ポスター



今年度の主な事業・行事实施状況

人命救助訓練

二十八年度は、各海上保安部署のご協力を頂き十二ヶ所の地区が実施した。

訓練の様子をいくつか紹介します。

ひびき灘地区

六月十二日（脇田漁港フィッシャリーナにて）



雨の中、若松海上保安部の皆様ありがとうございました。

萩地区

六月二十六日（萩港内にて）



萩海上保安署・萩地区小型船安全協会の皆さんお疲れ様でした。

今年度の主な事業・行事实施状況

人命救助訓練

有明海地区

十一月十九日

今年度は、大牟田消防署の協力を得て、心肺蘇生法訓練・AED 取扱い訓練を実施。参加者全員が初めての経験ということもあり戸惑いながらも講師の指導を得ながら終了することができた。受講生一同貴重な訓練体験ができた。

実施訓練終了後に、普通救命講習修了証交付式で、受講者全員に終了証が交付された。



消防署の方が講習！



会員の皆さんも頑張っています。



AEDの講習です。

大牟田消防署の皆様、お疲れ様でした。
ご指導ありがとうございました。

実際に体験したような場所に遭遇した場合、いざ訓練で体験した時と同様に実際にできるだろうかという声も参加者から聞こえた。

最初は戸惑いながらも、貴重な訓練体験ができたことに会員の方も大喜びだった。



今年度の主な事業・行事实施状況

日本財団助成事業

十一月十八日

海上安全指導員連絡調整会議

各地区の海上安全指導員の代表を集めて、北九州市門司区の旧大連航路上屋で開催した。

七管本部山本交通部長をはじめ、安全対策課の方々にも出席を頂いた。

各地区の指導員より活動報告・活動における問題点をテーマに会議が進められた。

午後からは、土井良安全対策課長より「遵守事項違反について」、「海上安全指導員活動報告の記入等について」の説明があった。また、南海トラフ地震のシミュレーション映像の紹介があった。



指導員会議の様子



南海トラフ地震のシミュレーション映像の紹介

門司港レトロ「旧大連航路上屋」

人々が集う施設へと生まれかわりました。



旧大連航路上屋について

大陸と盛んに行き来していた昭和初期、門司港と中国の大連とは、定期航路で結ばれていました。この頃に、国際旅客ターミナルとして建てられたのが、「旧大連航路上屋」です。幾何学模様を取り入れたアールデコ調のデザインは、かつて門司港が、世界の流行の最先端を歩いていた港町であることの何よりの証しであり、80余年を経た今も尚、モダンな雰囲気を醸し出しています。この「旧大連航路上屋」が、この度、完成時の姿を取り戻し、人と人をつなぐ交流施設として甦りました。各種多目的スペースを活用してのイベントや、文化・芸術の発表など、門司港の新しい魅力を伝えます。



昭和4年竣工時写真



今年度の主な事業・行事实施状況

平成二十八年 度

海の日 表彰

北九州市の門司港ホテルで海の日
の表彰が遂行され、海事にご功
績があった方々が表彰の榮譽に
浴しました。
当協会関係では次の方々が受賞
されました。誠におめでと
うございます。ご健勝と益々
のご活躍を祈念します。

国土交通大臣表彰受賞者

関門地区小型船安全協会

越智 政一

指定年数三十年以上で活動回数三百回以上の
ものに与えられるものです。



海上保安庁長官 表彰受賞者

海上安全指導員

佐藤 辰三 (大分) 瀬戸 弘道 (有明海)

宮本 昭和 (長崎) 畑島 宏幸 (対馬)

津行 宏敏 (津久見) 吉川 龍松 (津久見)

石井 正彦 (津久見) 菅原 孝 (平戸)

指定年数十五年以上で活動回数百五十回以上の者に与えられる
ものです。

「海の日」 制定の由来

私たちの国は、四面を海に囲まれた海洋国で、はるか昔から外国からの文化の伝来をはじめ、人の往来や物の輸送、産業、生活などの各分野にわたって、海に深くかかわってきました。

最近では、海洋開発やウォーターフロントの整備、マリンスポーツの普及など海を利用する機会は急速に多様化しています。さらに、地球環境の保全という観点からも、海の役割が重要視され、海洋汚染防止などの必要性が一層高まっています。

このような海の重要性にかんがみ、近年になって国民の祝日「海の日」を設けようと国民運動が大いに盛り上がり、その結果、平成8年から7月20日が国民の祝日「海の日」として制定されました。さらに、平成13年6月、「国民の祝日に関する法律の一部を改正する法律」が成立したことにより、「海の日」は平成15年から7月の第三月曜日となり、三連休化されています。

第七管区海上保安本部長

表彰受賞者

海上安全指導員

長 茂善 (福岡) 川上 健二 (伊万里湾)

岩崎 昇 (長門) 濱本 邦治 (長門)

田村 豊年 (佐世保) 尾崎 嘉弘 (佐世保)

山中昭三郎 (平戸)

指定年数十年以上で活動回数百以上の者に与えられるものです。

海上安全指導員

地区で活躍する海上安全指導員

海上保安庁では、安全で秩序あるマリネレジャーの発展を図るため、地域におけるマリネレジャーのリーダー的な民間有志の方々を「海上安全指導員」として指定し、プレジャーボート等に対する様々な安全活動を行って頂いております。また、海上安全指導員が使用する船舶を「安全パトロール艇」として指定しております。当協会会員の中から、二百三十五名（平成二十八年十二月現在）が海上安全指導員に指定され活動しております。

海上安全指導員が、訪船指導を行う際には、「海上安全指導員手帳」を携帯し、「腕章」を着用しており、活動を行う際に用いる安全パトロール艇には、「安全パトロール旗」が掲揚され、「安全パトロール艇ステッカー」が貼付されています。



海上安全指導員手帳



腕章



安全パトロール旗



安全パトロール艇ステッカー



当協会の会員が海上安全指導員に指定された時はマリネハット・ライフジャケットを貸与しております

訪船指導中の海上安全指導員



地区小安協活動報告



ゴミ集積 (たくさんあるなあー! 頑張ってます)



平戸海上保安署長挨拶

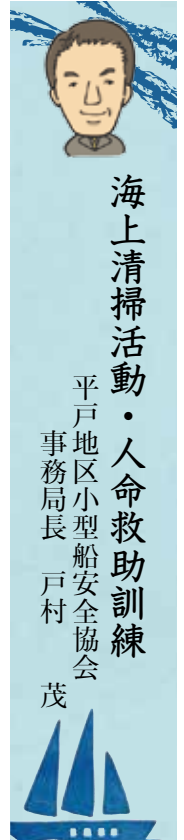


平戸市クリーンセンターへ(軽トラック3台)



平戸瀬戸北部海域～平戸港内の清掃

海上清掃活動



海上清掃活動・人命救助訓練

平戸地区小型船安全協会
事務局長 戸村 茂

日 時

平成二十八年七月十八日(月)
午前八時三十分～十一時

場 所

平戸瀬戸北部海域～平戸港内

参加人員及び参加艇

参加艇 八隻、四～五名
参加者 三十五名

人命救助訓練

日 時

平成二十八年七月二十三日(土)
午前十時～十四時三十分

訓練場所

平戸瀬戸北部大野町海岸沖合

参加者

平戸海上保安署 十名(巡視艇かいどう)
佐世保海上保安部 五名(巡視艇あいかぜ)
海上安全指導員 十名・パト艇 五隻
一般参加者(会員を含む) 八十名



巡視艇より一般参加者の見学状況



人命救助訓練時の内容説明



小型船の曳航訓練



海中転落救助訓練

地区小安協活動報告



シーバードデイ2016
ゴミ取って！ウロコ取って！食べましよう♡
海と日本プロジェクト in 伊万里

特定非営利活動法人
伊万里湾小型船安全協会
事務局長 坂口 亜紀



昨年の七月三十一日に「シーバード2016ゴミ取って！ウロコ取って！食べましよう♡海と日本プロジェクト in 伊万里」(日本財団事業)を開催しました。

参加者 地元の子供会 七十一名(子供三十二名、大人三十九名)、スタッフ 十七名

実施内容 小型船舶、水上バイクに子供たちと乗船してゴミ拾いをする。

伊万里海上保安官が紙芝居でゴミが環境に悪影響を及ぼしている講話をする。

漁師による魚捌き教室を行いバーベキューパーティー。

水上バイク、バナナボートで遊ぶ。

了。当日は晴れ、最高気温35・6度、十時より開始十四時三十分終了。

ほとんどのの方が、船に乗るのも、お魚を捌くのも、水上バイク、バナナボートに乗るのも初体験でした。

特に魚捌きは大人がほとんど出来なくて、大人と子供も楽しそうに魚屋さんに指導を受けていました。参加された皆さんテンションアゲアゲで大満足されました。

シーバード(海上清掃活動)

昨年の七月～十月に十三回、四百四十九名の参加者でした。

今年もたくさんの子供たちに海の環境活動、海の素晴らしさを少しでも知って貰えたらと思います。



子供たちも頑張っています



海上保安官の紙芝居をちびっ子たちも真剣に聞いています



皆さん、お疲れ様でした



むずかしいね!



水上バイクの体験乗船

安全講習会受講旗を掲げましょう！

安全講習会受講旗は、安全講習会を受講された会員の皆様に無償配布しております。

安全講習会とは、一度受講すればよいというものではありませんので、毎年、新しい情報を入手していただくことが大切という立場に立って、年度ごとに旗の色を変えて配布しております。

安全講習会受講旗を掲げて小型船舶の海難防止及び運航マナーの向上を自ら意識され、会員としての士気を高めて欲しいと思います。

年度を重ねるごとに受講旗の認識も高まって、講習会の参加者も増加しております。

会員以外のプレジャーボート操縦者にも安全思想の普及を目的として、この旗のPRをしていただき、会員のみの特典であることから、会員募集においても活用していただきたいと思ひます。

29年度安全講習会受講旗
色決定



ヨット・モーターボート総合保険に加入されていますか？
会員になると特典があります。

ヨット・モーターボート
総合保険？



団体割引 5%適用

主な特色

1. 団体保険のため、通常の個別加入に比べ保険料が大変**割安**です。
2. 第三者に対する賠償を高額に設定しておりますので**安心**です。
3. 郵便振込によるお申し込みなので加入手続きが**簡単**です。

お問い合わせ先
及び取扱代理店

アイム興産株式会社

〒806-0004 北九州市八幡西区黒崎城石3番5号

TEL 093-621-6385

(土曜・日曜・祝日・休業日を除くAM8:30~17:30)

引受保険会社 三井住友海上火災保険株式会社 八幡支社

ひろげよう！安全活動の輪！

あなたも会員になりませんか！

(公社)九州北部小型船安全協会では、プレジャーボート（モーターボート、ヨット、水上オートバイ等）の海難ゼロをめざして、各地区の小型船安全協会と共に海上保安部署の協力を得て現場での安全指導やパトロール、また、大型船との安全面に対する指導及び海難防止講習会等多彩な活動を行っております。仲間に入り、安全なレジャーを楽しみませんか！

入会ご希望の方は九北小安協へご連絡ください。各地区の小安協を紹介させていただきます。

関門地区小型船安全協会
みやこ地区小型船安全協会
宇部小型船安全協会
洞海地区小型船安全協会
芦屋地区小型船安全協会
福岡地区小型船安全協会
有明海小型船安全協会
唐津玄海小型船安全協会
伊万里湾小型船安全協会
長崎小型船安全協会
対馬小型船安全協会

佐世保地区小型船安全協会
平戸地区小型船安全協会
豊前海小型船舶安全協会
大分地区小型船安全協会
臼杵地区小型船安全協会
津久見地区小型船安全協会
佐伯地区小型船安全協会
長門地区小型船安全協会
萩地区小型船安全協会
ひびき灘地区小型船安全協会



公益社団法人九州北部小型船安全協会

連絡先 〒801-0852 北九州市門司区港町 7-8 郵船ビル 2 階
電話 093-332-3578 FAX 093-332-3579



平成28年度も残りわずかとなりました。会員皆様方及び賛助会員の皆様方のご協力・ご支援には深く感謝いたしております。事務局も女性二人で頑張っておりますので、今後ともよろしく願いいたします。

